

五十四期生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から祝福し歓迎いたします。皆さんが登校できなかつたこの間、我々教職員は会えない皆さんのことをずっと想っていました。何とか皆さんと心を通わせる方法はないものか、互いの心の温度を高める方法はないものかとやるせない思いをしたものです。登校日が設定でき、タブレットを渡せた日は本当にうれしく思いました。教員も慣れないオンラインでのやりとりに戸惑いながらも、懸命に教材を作成していました。みなさんと双方向での面談ができた日は喜びも一入でした。

さて皆さんは中学時代、学習に励み、難関を突破して

晴れて千里高校に入学されました。高校に入学して、あれもやりたいこれもやりたいと希望に大きく胸を膨らませていることと思います。一方、高校に入ってなにをしたらいいのか友達はできるかなど少々不安を抱いている方もおられることでしょう。「見る前に跳べ」という言葉があります。わたしはみなさんに、まずは「跳ぶ」ことを勧めます。実際やりたいことは高校に入ってからかかってしまいかもしれません。いや変わっていいければいいのです。何が本当にしたいかはやってみなければわかりません。思い切って跳んでください。

この世界を見る私たちの視野は決して広くはありません。

せん。いつも自分の立っている場所からしか見られないという限界があります。自分が習ってきた知識や家庭環境からしか見られないという限界があります。世界的確にとらえ、そこから大きな夢を紡ぐには小さな世界から脱却する必要があります。学问というのはそのためにあります。世界についての視野を広げていくのです。視野を広げていくというのはすでに知っている知識を量的に拡大するということだけではありません。不確定なことで、わからないことが充満する世界、正解のない世界の中で重要なことは、すぐにはわからない問題を手持ちの知識に当てはめてわかった気にならないことです。自

分とは異質な他者と交流し、ものの見方、考え方、感じ方を学び、自分の世界を広げるのです。これまで当たり前前にみてきた世界を別の観点からとらえなおすのです。そのため鍛えておくものはイマジネーション。すなわち想像力です。これまで考えも及ばなかったものを想像する力。まさに今現在、世界を襲っている新型コロナウイルスの問題もそうです。どうすればいいという正解はありません。複合的な課題が山積しています。ワクチンや治療薬を開発すればいいというだけではありません。問題を様々な方向から考え、問題を立体的に浮き彫りにして行ける想像力が必要です。想像力が相手の心を慮る

方に向かえばそれは思いやりになります。未知の現象や物質に論理的に向かえば科学する力になります。サンテグジュペリは「星の王子さま」のなかで本当に大切なものは目には見えぬ、心で理解するものだと言いました。みなさん、千里高校では非想像力を鍛えてください。

それでは最後にみなさんに想像力を働かして見てもらいたいことがあります。それは来年の4月の自分の姿です。では目をつむって5秒間想像してください。どうぞ。そこにはどんな自分がいましたか。来年の4月に皆さんには喜びに満ち溢れ、輝いている姿になってほしいのです。大阪の吉村知事は感染者数が増加している時に、

今の感染者数は変えられないが未来の、2週間後の感染者数は府民の努力で変えられると言って、見事にコロナ封じに成功しました。みなさんにもいまを踏ん張り頑張ることとで来年の4月の自分を輝かしてほしいのです。

最後になりましたが本日の入学式に列席していただけなかった保護者の方々に向けてご挨拶させていただきます。お子様はしっかりと千里高校がお預かりしました。安心をお届けする心温まる取り組みを行います。そして3年後、必ず希望の進路を実現し、豊かな人間性が花開くように教職員一丸となつて教育活動に邁進するこ

とをお誓い申し上げて私の式辞といたします。

令和2年6月15日

大阪府立千里高等学校校長

天野

誠